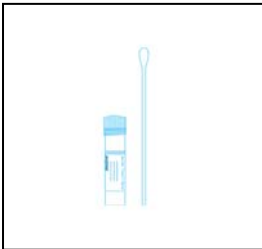


## ヒトパピローマウイルス検査における検体採取について

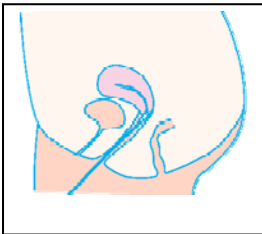
性器型 HPV を中高リスクグループと低リスクグループに分けてチェックします。  
膣奥部の子宮頸管に近いところの分泌物から中～高リスク HPV・低リスク HPV をハイブリッドキャプチャー法にて検出します。  
ヒトパピローマウイルス（HPV）専用プラスチック容器を使います。男女共通の容器となりますので、②は該当する方を参考にしてください。

### 【使用上の注意】

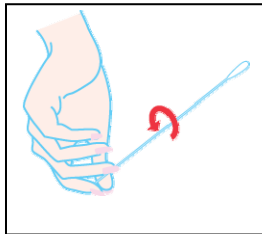
- 1.滅菌品のため、できるだけお早目にご使用ください。
- 2.手を清潔にしてからご使用ください。
- 3.（女性）**生理中、妊娠の可能性のある方は使用しないでください。**
- 4.（女性）使用前の性交、膣洗浄は避けてください。
- 5.採取後の検体は、長時間高温にさらされると、正しい結果が得られないことがあります。車中など高温の恐れがある場所には絶対に置かないでください。
- 6.（女性）採取することにより副作用はありませんが、稀に出血をすることがあります。出血が長引くようであれば、医療機関にご相談ください。



① セットを開封し、プラスチック容器と綿棒を用意します。  
綿棒は同じものが2本入っていますが、使用するのは**1本のみ**です。  
取り出す際には、綿棒の先を直接手で触ったり、他の場所に触れたりしないようにしてください。



【図1】



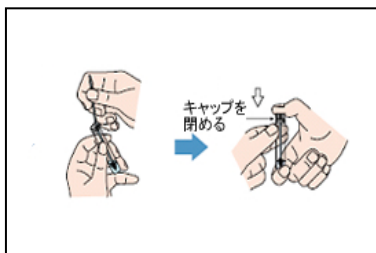
【図2】

### ② 【女性の場合】

しゃがんだ姿勢（または仰向けで膝を曲げ軽く足を開いた姿勢）となり、5～6 cm程綿棒を膣に挿入します。  
スッと入らない場合は角度を変えてみてください。  
子宮膣部（膣の奥）に突き当たる感じがします。【図1】  
そして、挿入した綿棒を膣の最深部（入り口から6～8cm）で10回ほど回転させ、抜き出します。【図2】  
※綿棒は折れやすくなっています。親指と人差し指、または親指と中指で軽く持ち、過度の力や圧力をかけないようにして下さい。

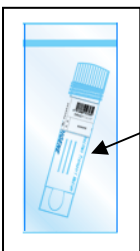
### ② 【男性の場合】

女性同様、綿棒1本で性器の皮膚をこすって検体を採取します。  
検体採取の際、男性の場合は、入浴する直前（前回入浴してから1日経った状態/外用剤・シャワー等使用せず）に龟头と包皮の内側（つまり粘膜部分）を綿棒にまんべんなく拭き取っていきます。  
強くこする必要はありません。  
耳垢を取るために綿棒を使っているイメージで行ってください。



### ③ プラスチック容器の蓋を開けます。

ねじ式ではありませんので、廻しながら引き抜いてください。  
綿棒の先端（検体を採取した方）を下にしてプラスチック容器に入れます。  
綿棒の柄をプラスチック容器の淵で折って、プラスチック容器のキャップをしっかりと閉めます。



④ 貼ってあるラベルの空いているところにお名前（フルネーム/カタカナで）と注文番号を記入してください。  
同封のジッパー付ビニール袋に入れ、中の空気を抜きジッパーを確実に閉じてください。  
返信用封筒に返送伝票と検体を入れ、ご返送ください。

### 【検査結果について】

検査結果は kensa.biz ホームページで確認できます。検査キットの購入・結果の閲覧には、会員登録が必要となります。HP上のショッピングガイド、または、ログインページをご参照下さい。会員様ログインより会員認証を行い、ご自分の検査結果をマイページにてご確認ください。

### Kensa.biz

医療法人社理仁会 予防医学研究所

土曜午後・日曜・祝日 休業

※夏期・年末年始に臨時的休業日がありますので、<http://36350010.com/schedule> より営業日をご確認の上、ご返送ください。